

就職内定報告

2017

「好き」を「強み」に、強みを「仕事」にする。

文化学園大学・短期大学部

服装学部
服装造形学科（現：ファッションクリエイション学科）

4年

遠藤 緋異来 えんどう・ひいな

東京都立忍岡高等学校 出身

内定企業

株式会社ワコール／インナーウェアデザイナー

事業内容：インナーウェア・アウターウェア・スポーツウェア等の製造・販売



BUNKAに入学した理由

高校で服飾の勉強をしていた頃から、服のデザインを考える際には「人が着るもの」であることを最優先に考えていました。ただ美しい服が作れるようになるだけではなく、「着る人に合わせた着心地の良さがある美しい服」を作りたいと思っていました。服装造形学科※は、そういった機能性を兼ね備えたデザイン知識を身につけることもできる学科だと強く感じ、入学を決意しました。

※現：ファッションクリエイション学科

授業の中で将来の姿が見えてきた

デザインをすることはもちろん楽しかったのですが、1・2年生の時の授業で、服の設計図であるパターンを引く際のちょっとした違いで着心地や着たときの見え方が変わることを教えてもらい、パターンにも興味を持つようになりました。自分の将来像が見え始めたのは、この授業の影響が大きいと思います。その後、インターンシップで水着のパタンナーやデザイナーの仕事を経験したことで、めざす将来がより明確になりました。希望の職種であったことはもちろん、現場で働く方々の声を直接聞くことができ、とても得るものが多い研修でした。

就職活動でのアピールポイント

就職活動では、パタンナーをめざして、企業だけでなく小規模のアトリエも受験していました。(株)ワコールから内定をいただけたのは、私が服づくりで大切にしている「着る人に合わせた着心地の良い美しい服を作る」という考えが、会社側のものづくりの姿勢と一致したからではないかと思えます。また、4年生のファッションショーでは、衣装製作だけでなくショー全体の企画委員として積極的に携わり、授業以外でも、他学科の友人の紹介により国内ブランドのファッションショーでフィッターのお手伝いをしたりと、興味を持ったことは躊躇せずにやっていたことも、自己アピールのポイントになっていたと感じています。

卒業研究に取り組んでいます

現在は、障がい者スポーツの新しいユニフォームを提案することをテーマにした卒業研究に取り組んでいます。障がい者スポーツは競技人口も少なく、思うようにデータが集まらずに苦戦していますが、私がめざす「着る人に合わせた着心地の良さ」を追究するため、頑張ります！

Message

高校生の自分へ

関わったすべての人への感謝を
忘れずに、
諦めず頑張っていれば
やりたいことに挑戦できる。

「その努力を見ている人は必ずいるから、
安心して邁進しまえ！」